

令和 6 年度

第 2 回木曾岬町地域公共交通会議

会 議 録

令和 7 年 2 月 18 日（火）開会

木曽岬町地域公共交通会議 会議録

会議日 令和7年2月18日（火）午前10時00分～午前11時05分

令和7年2月18日、木曽岬町地域公共交通会議委員は、木曽岬町役場会議室（4階防災会議室）に召集された。

1. 出席委員は、次のとおりである。

（氏名）

木曽岬町長	加藤 隆	（3条1号委員）
（公社）三重県バス協会専務理事	青木 周二	（3条2号委員）
代理 事務局長 水谷 佳広		
三重交通（株）桑名営業所長	中川 康司	（3条2号委員）
利用者代表（会長）	黒宮 陽子	（3条3号委員）
利用者代表（副会長）	藤村 正樹	（3条3号委員）
利用者代表	古村 優和	（3条3号委員）
利用者代表	荻原 正良	（3条3号委員）
利用者代表	後藤 友子	（3条3号委員）
利用者代表	半羽 将則	（3条3号委員）
利用者代表	平松 直樹	（3条3号委員）
利用者代表	服部 千枝子	（3条3号委員）
三重運輸支局首席運輸企画専門官	石野 栄一	（3条4号委員）
三重交通労働組合執行委員長	加藤 義明	（3条5号委員）
代理 桑名支部 支部長 楠 幸憲		
三重県桑名警察署交通第一課長	前川 浩希	（3条6号委員）
三重県地域連携・交通部交通政策課長	藤田 雄一	（3条6号委員）
代理 主事 古市 大也		
三重県桑名建設事務所管理課長	西 幸一郎	（3条6号委員）
弥富市役所市民生活部市民協働課長	藤井 清和	（3条6号委員）
代理 主査 村上 祐司		
木曽岬町役場建設課長	伊藤 雅人	（3条6号委員）

2. 欠席委員は、次のとおりである。

利用者代表	諸戸 奨也	（3条3号委員）
-------	-------	----------

3. 議題説明のため出席した者は、次のとおりである。

副町長	森 清秀
危機管理課長	坂倉 丈夫
危機管理課	山下 大貴
（株）セントラルサービス	
営業推進部業務課 弥富営業所 所長	岩浪 義幸

4. 会議議題は、次のとおりである。

- (1) 令和6年度利用者数及び事業収支について（報告）
- (2) バス車両更新の状況について（報告）
- (3) 乗降調査結果について（報告）
- (4) ダイヤ改定アンケート調査の状況について（報告）

事務局	(開会の辞) 本日はご多忙のところ、ご出席いただきありがとうございます。定刻になりましたので、令和6年度第2回木曽岬町地域公共交通会議を開催させていただきます。私は危機管理課の坂倉と申します。よろしくお願いいたします。 委員の交代がございましたので、ご紹介をさせていただきます。委員名簿をご覧くださいませでしょうか。 (交代委員、欠席委員の報告) ※事務局読み上げ
事務局	本日の出席委員数は、19名中18名です。木曽岬町地域公共交通会議設置要綱第6条第3項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しますことをご報告させていただきます。 なお、本会議は議事録作成支援システムにて記録を行うため、発言の際は、マイクの使用をお願いいたします。 それでは会議の開催に先立ちまして、加藤町長より皆様にご挨拶申し上げます。
町長	(町長あいさつ) 皆様おはようございます。今年は立春を過ぎてから大変な寒波が押し寄せ、先週も大変な大雪に見舞われて、道路や交通機関に大きな影響が出ました。今日もまた西の空も雪雲ですっぽりと鈴鹿山脈が追われてしまいまして、先ほど雪が舞ってまいりました。この季節になりますと大雪や凍結が大変心配される季節でございますが、おかげさまで当町は大きな乱れもなく、自主運行バスを運行させていただいております。まず関係者の皆様に感謝を申し上げたいと思います。 今日は令和6年度第2回木曽岬町地域公共交通会議を開催させていただきましたところ、各委員の皆様にはそれぞれお忙しい中、ご出席をいただき本当にありがとうございます。また平素、当町の公共交通行政に格段のご支援やご協力を賜っておりますことにも、この機会に改めて感謝と御礼を申し上げる次第でございます。本当にありがとうございます。 私どもはやはり町民の皆様にとって便利なまちにしていける必要があります。当町には、特に鉄道も通っておりませんし、公共交通機関が他にございません。それだけにこの自主運行バスの重要性というのは、本当に大事なものだと考えております。この交通会議を開くたびに皆様から積極的なご意見、ご提言をいただきながら、より充実した住民の皆様の便利な足として、運行を行ってきたところでございます。 本日の公共交通会議はお手元の事項書にございますように、議題としましては令和6年度の利用者数と収支状況、それから2点目がバスの車両更新の状況について、それから3点目が乗降調査の結果について、それから、公共交通である自主運行バスについて、皆様のニーズに少しでもこたえられるように、様々な検討を重ねてきたところでございますが、さらにダイヤ改定に向けて、先般アンケートを実施したその状況についてということで、今日は4件の議題について、いずれも報告案件となっておりますが、担当から詳細に説明をさせていただきますので、各委員の皆様からご意見、積極的なご提言をいただいて、より充実した自主運行バスの運行を図っていきたいと考えてござい

町長	ますので、本日の会議が有意義な会議になりますようにお願いをさせていただきます、ご挨拶とさせていただきます。 なお、私この後、他に会議の予定がございますので、途中で退席させていただきますこと、ご理解をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 木曾岬町地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により、会議の議長は、会長が務めることとなっております。今後の議事進行につきましては、黒宮会長にお願いしたいと思います。それでは黒宮会長、議事の進行をお願いいたします。
会 長	改めましておはようございます。本日は雪がちらつく寒い中をご出席くださいます、誠にありがとうございます。議長を務めさせていただきます黒宮でございます。 円滑な議事進行のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします
議 長	まず、この会議の記録を残すため、書記の指名を行います。書記には坂倉危機管理課長を指名いたします。ご異議ございませんでしょうか。 (異議なし)
議 長	異議なしと認めます。坂倉課長、書記をお願いいたします。 続きまして、会議録署名委員の指名を行います。会議録への署名は藤村委員、服部委員の二名を指名いたします。事務局による会議録の作成が完了した後、会議録への署名をお願いいたします。 それではこれより、事項書4、議題の審議に入ります。 報告案件議題1、令和6年度利用者数及び事業収支について事務局の説明を求めます。
事務局	危機管理課にて公共交通を担当しております山下と申します。 それでは議題1、令和6年度利用者数及び事業収支についてのご説明を申し上げます。 (議題1 事務局 説明) ・令和6年度木曾岬町自主運行バス利用状況報告（令和6年4月～令和7年1月分） ・令和5年度・令和6年度利用者数比較 ・年度利用者数、収入推移
議 長	ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。

議 長	ご質問もないようですので、議題 1、令和 6 年度利用者数及び事業収支についての質疑を終了させていただきます。 続きまして、報告案件議題 2、バス車両更新の状況について事務局の説明を求めます。
事務局	それでは議題 2、バス車両更新の状況についてご説明申し上げます。 (議題 2 事務局 説明) ・ 自主運行バス車両更新方針に基づく更新状況
議 長	ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。
委 員	三重運輸支局の石野です。よろしくお願いします。 次年度の 1、2、3 号車については、今の車両のリース期間を 1 年延長するということで、4 号車が新しく導入されるっていうことでよろしいか。
事務局	事務局の山下です。 ご認識の通り、1、2、3 号車は再リースでもう 1 年継続して使用し、町が所有している 4 号車に関しては、来月調達行為を行い、令和 7 年度中に架装、また令和 7 年度中に切り替える予定としております。
委 員	ローザを入れると思うのですが利用する車体の大きさ、幅、高さなど、そのあたりは特に大きくなったり、長くなったりしないでしょうか。するようであれば道路管理者さんや警察さんと道路状況を確認していただきたいのと実際走れるかどうかというのをしっかり確認をお願いしたいと思います。変わらなければ特にいいと思います。
事務局	今の 4 号車はローザのスーパーロングであり、同型のものを導入する予定としておりますので、現状と状況は変更ないと考えております。
議 長	ありがとうございました。他にはございませんでしょうか。 ご質問もないようですので、議題 2、バス車両更新の状況についての質疑を終了させていただきます。 続きまして、報告案件議題 3、乗降調査結果について事務局の説明を求めます。

事務局	それでは議題 3、乗降調査結果についてご説明申し上げます。 (議題 3 事務局 説明) ・乗降状況 ・乗車属性割合 ・6 月と 11 月の乗車数等比較 ・便別人数
議 長	ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。 ご質問もないようですので、議題 3、乗降調査結果についての質疑を終了させていただきます。 続きまして、報告案件議題 4、ダイヤ改定アンケート調査の状況について事務局の説明を求めます。
事務局	それでは議題 4、ダイヤ改定アンケート調査の状況についてご説明申し上げます。 (議題 4 事務局 説明) ・令和 6 年 10 月 1 日ダイヤ改定に伴うアンケートの概要、質問内容 ・集計結果
議 長	ただいまの事務局からの説明について、ご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。 かなり具体的な要望が出ておりますので、皆様からのご意見いただければと思います。
議 長	私からよろしいでしょうか。20 時台がないのは大変不便というのはすごくわかります。21 時台ができたことは大変ありがたいという意見もたくさん出てるので、20 時台もあり、21 時台も残すという形で検討していただければ、お仕事で遅くなる方とか学生さんとかがすごく喜ばれるのではないかと思います。
事務局	承知しました。委員さんの意見として記録させてもらいますので、そちらも検討させていただきたいと思います。
議 長	「小学校・役場前」を「木曽岬小学校・役場前」にした方がいいと思うという意見がありまして、木曽岬を入れるか入れないか検討したときに、木曽岬を入れるとちょっと長くなるからなくした経緯があったと思いますが、やはり入れた方がわかりやすいのかなと思いました。皆様いかがでしょう。

事務局	名称に関しては、9月にダイヤ改定を検討してますので、その際に再度ご協議いただけるように用意をさせていただこうと思います。
議 長	よろしくお願いします。もう1つよろしいでしょうか。 発着時間がバラバラという意見も何件か出ていましたけど、これは近鉄ダイヤとの絡みでしょうか。昼間だけでもできないかと思いますがいかがでしょうか。
事務局	発着時間がバラバラというこの意見についてですが、駅というよりは、各停留所の例えば9時5分、10時5分のように同じ分に発着するように10月前までのダイヤでは多くがそうになっておりましたが、やはり安全運行のために一便あたりの運行時間を延ばしたことで、60分間隔などにできないところもあり、バラバラになってしまっているところ です。 そのため、もしこれを実現するとなった場合には、例えば昼の時間帯は一部経路を運行しないとか、停留所を変えるとか、そのような工夫をしないと、今の経路を今のバスで動かすとなると難しいのではないかと考えております。今回のアンケート以外でも、電話等でわかりづらくなった、覚えづらくなったとご意見をいただいている状況です。 ただ、やはり先ほど申し上げた通りに今の運行では限界があるところがあるので、昼だけ特別な運行をするというやり方になるのではないかとはいえます。
議 長	やはり朝夕の利便性を考えたほうがよろしいでしょうか。
事務局	今の乗降調査の結果等から見ると多くの利用者は朝夕利用している人が多数となっています。しかし、自主運行バスとして町民の足になっておりますので、朝夕だけでなく、昼の時間帯はご高齢の方が利用されている実態があるのでそこを補完するものは何かしら検討が必要ではないかと思っております。
議 長	ありがとうございます。他にはございませんでしょうか。 ご質問もないようですので、議題4、ダイヤ改定アンケート調査の状況についての質疑を終了させていただきます。 議題として挙がっている4件の報告事項に係る審議は終了しましたが、事項書5、その他について、事務局より何か報告等がありますか。
事務局	(事務局より4点報告) 1、停留所環境整備について ・近鉄弥富駅停留所ベンチについて ベンチに割れがあり、危険なため一部使用禁止の張り紙をしております。近畿日本鉄道が許可し、三重交通が設置したものととのことで、撤去される予定と聞いております。バスの起終点となるため、撤去後は当町にてベンチを設置できないか検討しています。

議 長	・ 停留所の歩車道境界ブロックについて 現在設置の停留所において、歩車道境界ブロックを跨いで乗降しなければならない箇所が6カ所ほどあります。乗降時の安全性を確保するため、歩車道境界ブロックの一部撤去について検討しています。 2、地域デジタル基盤活用推進事業（計画策定支援）の結果と今後について 支援の結果として、提案されたソリューション案は①既存路線を快速路線に変更する案②高校生専用の通学シャトルバスを整備する案の2点が示されました。両案共により明瞭な乗降実態やニーズ調査が必要であり、②についてはコストも増大するものになります。 本事業とは別に BWA 事業時に参画した内閣府等からなるスマートシティ官民連携プラットフォームからも様々なソリューション提案を受けており、また、令和6年11月国土交通省が発足した「交通空白」解消・官民連携プラットフォームへの参画も予定としております。 国や県の補助事業を活用しつつ、持続可能な公共交通について、引き続き研究を進めてまいります。 3、キャッシュレス決済（交通系 IC カード）の研究について 現在、レシップ社が提供する「QUICK RIDE」というスマートフォンアプリが導入できないか検討を行っています。費用は導入経費0円、経常経費販売額10%（販売手数料+決裁手数料）となります。 4、木曽岬町メール配信サービスの紹介 ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。 ご質問もないようですので、他に報告等ございませんでしょうか。 それでは、会議全体を通してご意見やご質問のあります方は挙手の上、ご発言ください。 ございませんでしょうか。 ありがとうございます。 本日予定しておりました議題の審議はすべて終了いたしました。円滑な議事の進行にご協力をいただきましたこと、お礼申し上げます。 以上をもちまして、令和6年度第2回木曽岬町地域公共交通会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。 （閉会時刻 ： 午前11時05分）
------------	---